

## 今日のトピック 米国のGDP成長率(2016年1-3月期速報値)

# 成長率は鈍化するも、今後、景気は持ち直しへ

### ポイント1 成長率は前期に比べ鈍化

#### 設備投資、在庫投資が減少

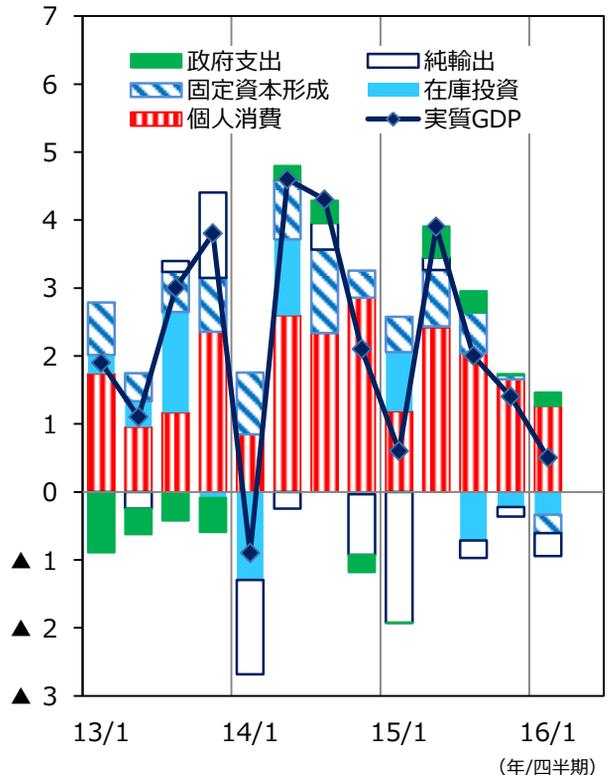
- 米商務省が4月28日に公表した2016年1-3月期の実質GDP成長率(速報値)は、前期比年率+0.5%にとどまりました。前期の+1.4%はもとより、市場予想の+0.7%も下回りました。
- 住宅投資は好調を維持したものの、個人消費、設備投資、在庫投資、純輸出が低調だったためです。

### ポイント2 原油安が投資を下押し

#### 住宅投資は好調を維持

- 需要項目別に見ると、個人消費は前期比年率+1.9%にとどまりました。自動車販売の落ち込みによるものです。ただ、雇用・所得の順調な拡大を踏まえ、鈍化は一時的なものと考えられます。
- 設備投資は同▲5.9%となりました。2四半期連続の減少です。原油価格下落の影響でエネルギー関連の投資が縮小したためです。他方、住宅投資は同+6.1%と堅調でした。
- 在庫投資、純輸出の寄与度は、ともに▲0.3%でした。在庫投資は昨年前半の在庫積み増しの反動、純輸出はドル高や新興国の景気減速によるものと考えられます。

(前期比年率、%) 米国の実質GDP



(注) データは2013年1-3月期～2016年1-3月期。  
実質GDPは前期比年率、その他項目は同寄与度。  
固定資本形成は設備投資と住宅投資の合計。  
(出所) 米商務省のデータを基に三井住友アセット  
マネジメント作成

### 今後の展開

## 景気は持ち直す見通し、株価はこれを織り込む展開へ

- 米国の景気は、今後、持ち直す見込みです。良好な雇用環境を背景とする個人消費の増勢加速に加え、資源価格の下げ止まりなどから設備投資の復調が期待されるためです。景気の拡大基調が崩れたわけではなく、利上げは継続される見通しです。
- ただし、物価が安定しているため、利上げの速度は緩やかなものになると予想されます。米国の株価は最高値付近で足踏みしていますが、今後は景気の持ち直し、企業収益の拡大を織り込む展開になると考えられます。

**ここもチェック!** 2016年4月28日 米国の金融政策 (2016年4月)  
2016年4月 4日 米国の雇用統計 (2016年3月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。